

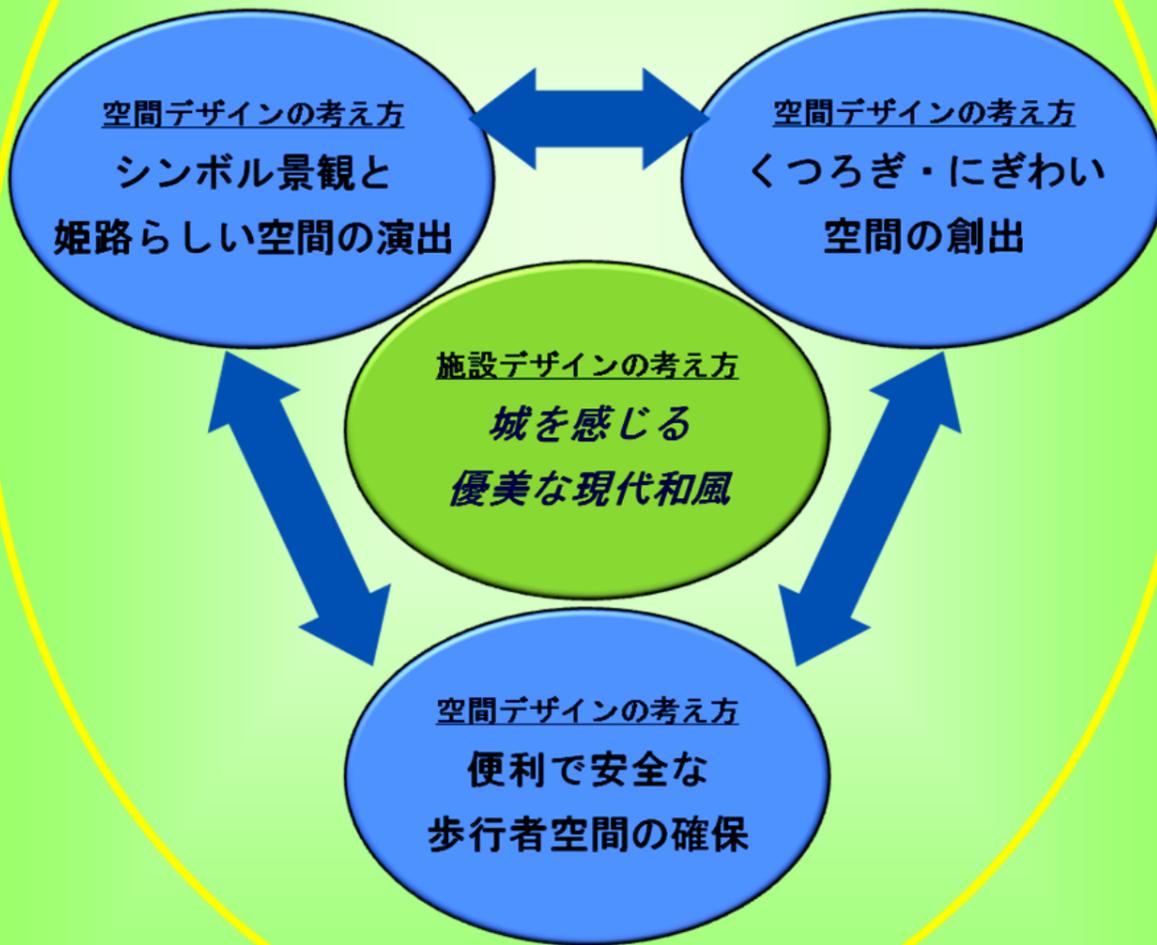
# 姫路駅北駅前広場デザインコンセプト

## 基本コンセプト

～輝き続ける城下町姫路の新たな顔～

「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」

「先進性」と「和」が融合したデザインを基調として、  
白鷺城の「美しさ」と「風格」が感じられ、  
来街者を「やさしくもてなす」デザイン



# I. キャスティ 21<sup>1)</sup> の都市空間形成の考え方

<sup>1)</sup>昭和 63 年に建設大臣の承認を得た姫路駅周辺整備事業の愛称

## 1. 基本的な方向

～「自然」、「人と人」、「歴史・文化」が共生する質の高い都市空間の形成～

## 2. デザインイメージ



## II. 姫路駅北駅前広場デザインコンセプト<sup>2)</sup> 2) 施設整備を行う際の空間形成や意匠などに関する基本的な考え方

### 1. 基本コンセプト<sup>3)</sup> 3) 広場に期待される機能や将来のめざすべき姿を端的に表すフレーズ

～輝き続ける城下町姫路の新たな顔～  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



時が交差し、人が交流する姫路駅北駅前広場

姫路駅北駅前広場の基本コンセプトを「輝き続ける城下町姫路の新たな顔」として、観光客や市民が気持ちよく利用できる「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」とします。

### 3. 施設デザインの考え方<sup>5)</sup> 5) 広場施設の意匠（デザイン）に関する基本的な考え方

#### 「城を感じる優美な現代和風」

- 姫路の歴史や文化（祭り屋台等）などを題材とした「姫路らしさ」の演出
- 人の心と体や地球環境に「やさしい」素材や技術を活用した景観の演出
- 誰もが使いやすい「ユニバーサルデザイン」を基本とした施設デザイン



姫路の歴史や文化のデザインモチーフ

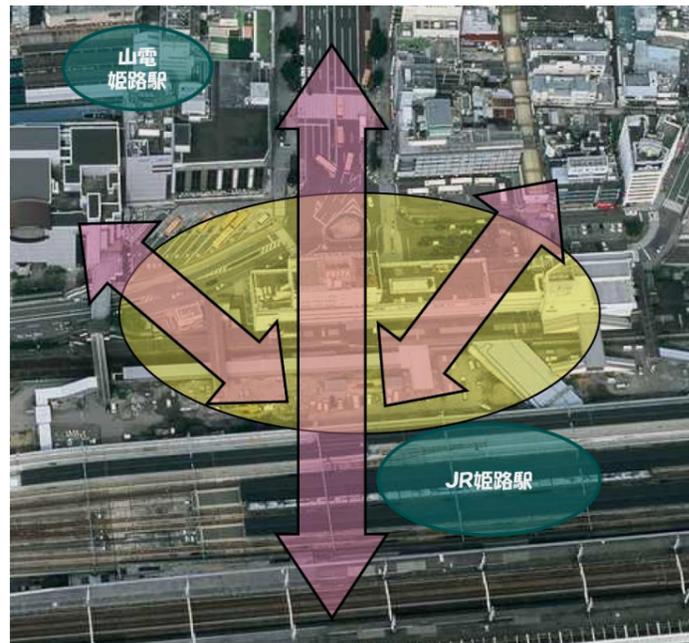


現代和風のデザインイメージ(例)

【東京ミッドタウン】

### 2. 空間デザインの考え方<sup>4)</sup> 4) 広場の空間形成に関する基本的な考え方

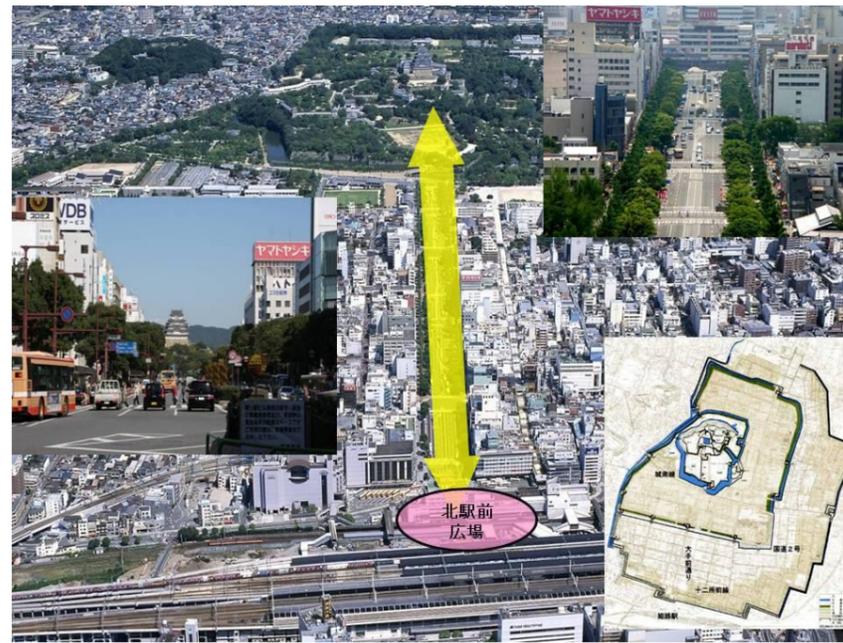
#### ① 便利で安全な歩行者空間の確保



主要な歩行者動線の安全性、利便性等を確保

- 交通結節点として「便利」で「わかりやすい」機能の配置
- 歩行者が優先され、「安全」に「安心」して歩ける動線の確保

#### ② シンボル景観と姫路らしい空間の演出



世界文化遺産姫路城と向かいあう姫路駅北駅前広場

- 来街者に「感動」や「ときめき」を与える「城への眺望」の確保
- 姫路らしさを随所に配した「城への序章空間」の演出

#### ③ くつろぎ・にぎわい空間の創出



サンクンガーデンの整備イメージ(例)【恵比寿ガーデンプレイス】

- 水や緑などを配置し、来街者が憩い、ゆったりとすごせる「くつろぎ空間」の創出
- イベントなど楽しくもてなす仕掛けづくりにより、人が集う「にぎわい空間」の創出